# 誰もが安全・安心に暮らし続けることができる 都市インフラ(橋梁)のリニューアル

#### 現 状

○管理規模 約1,200橋



明治33年 大正12年 昭和21年 昭和44年 平成4年 平成27年



清洲橋(昭和3年3月完成)

#### ■ 点検状況

※日常点検は3日に1度実施しており、その他に下記の点検を実施しています。



定期点検(5年に1度) 近接目視により、腐食、ひび割れ などを確認



**異常時点検(随時)** 震度5弱以上の地震で実施 目視などにより、状況を確認



詳細健全度点検(数橋/年) 目視できない構造を、非破壊 検査などで確認

### ■ 橋梁管理状況の推移

昭和46年度~ 主要橋梁約200橋 定期点検開始

昭和62年度~ 全管理橋梁約1,200橋へ

点検結果に基づき、 その都度適切な補修を実施 平成20年度~ 「橋梁の管理に関 する中長期計画」 策定 - 平成 25年度 - 点 - 検 の 令和2年度

「橋梁の予防保全計画」 策定予定

・蓄積した点検結果に基づき、将来の損傷を予測

法

定

・予め、適切な補修・補強工事を実施することで寿命を延伸 **〈予防保全型管理〉** 

# ■ 予防保全型管理に向けた取り組み

## ○長寿命化事業

架替えに多額の費用と周辺への多大な影響が予測される橋梁(長大橋、跨線・跨道橋)について、最新の技術を用いた対策を実施し、対策後100年以上の延命化を進めています。

⇒従来の対症療法型管理から、劣化が進行する前に計画的に補修補強等を行う予防保全型管理への転換

#### 【効果】

・コスト縮減、環境負荷の軽減、安全・安心の確保、道路ネットワークの確保

